

== 短所の裏返し ==

先日、小学校一年生になった姪っ子の朝の登校場面に出くわしました。声をかけると、息を切らしながら「鍵盤ハーモニカ忘れて取りに戻ってたの。おくれちゃう」と答えるのももどかしいように走り去って行きました。一緒に登校している男の子が、その隣で私に挨拶をしながら、右手に自分の鍵盤ハーモニカ、左手に姪っ子の鍵盤ハーモニカを持って走っています。一年生にしてなんとまあジェントルマンなんだろう、とその男の子のりりしい後ろ姿にすっかり感心してしまいました。

後日、姪っ子のママに「あの男の子、なんて思いやりがあってやさしいのかしら。」というのと、「そうなんです、周りのことをよく気がついて正義感があるんです。」とのこと。そうでしょうねえ、と再びうなずいていると、「でも・・・学校でよく先生に叱られるみたいなんです。友達のけんかの仲裁に入って余計にややこしくなったりするみたいで、余計なことはしないで、って言われちゃうみたいです。」というので、「あらら、お母さんもそう言われちゃったら悲しいわね。」というのと「いえ、お母さんも周りのことはいいから、自分のことをしてほしい、って嘆いています」というではありませんか。

私の見た、りりしい男の子の後ろ姿が、見る見るうちに黒い影に包まれていくようで、おせっかいながら将来を案じてしまいました。

我が子のことと置き換えてみれば、学校の先生の言い分もお母さんの言い分も理解できます。けれど、実にもったいない。他の子にはないとびきりのピカピカした長所です。

長所は短所と紙一重。社会からは色々ご指摘もあるでしょう。そのご指摘も受け入れつつ、けれど、親だけは我が子のとびきりのピカピカをしっかりと自覚して、大事に守り育てていってほしいものです。

大きくなった時に、その子その子らしくいられるように。

(臨床心理士 藤井あづさ)